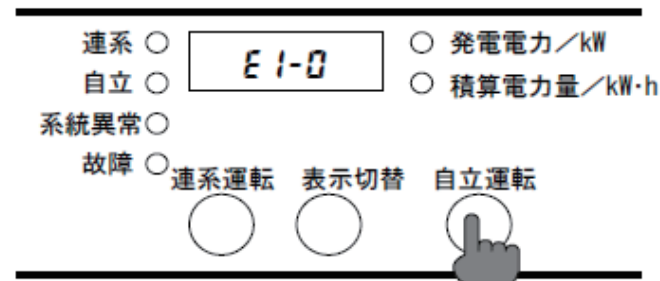


停電時の使い方（自立運転）

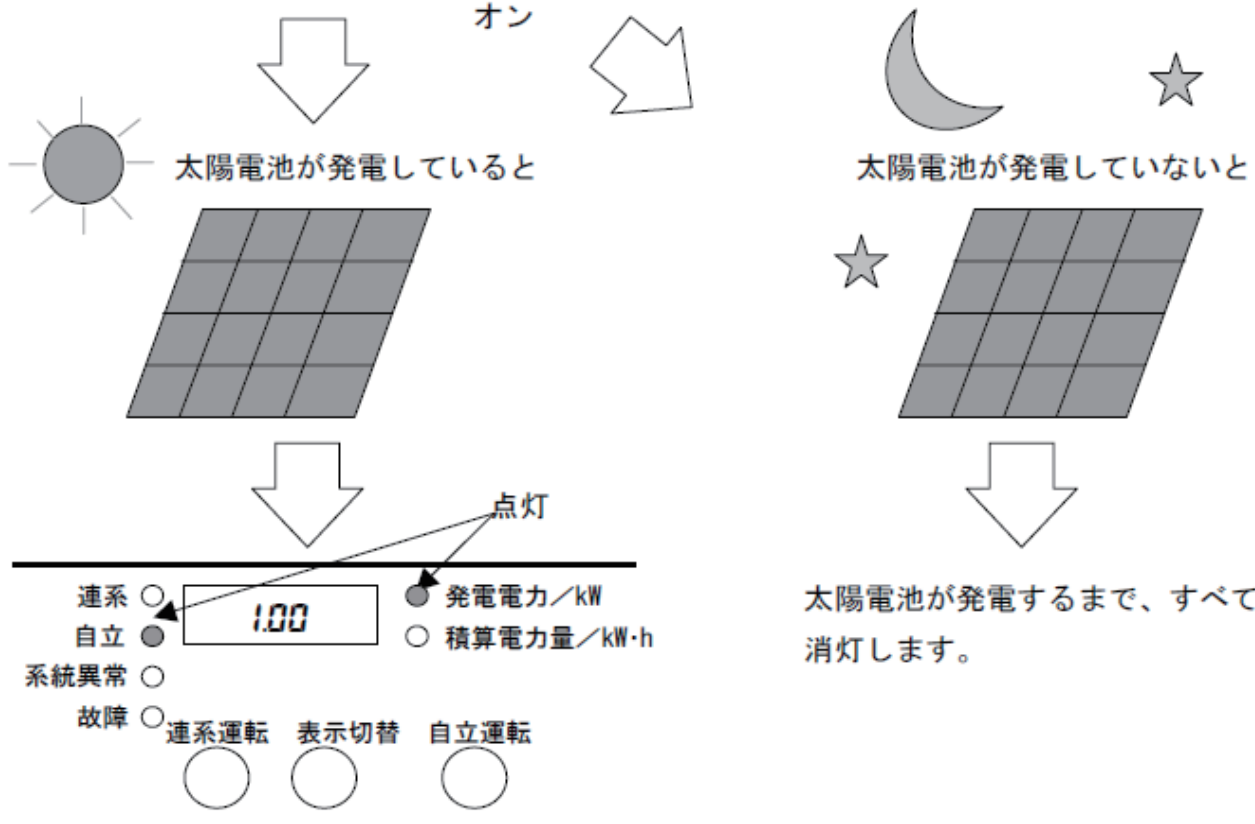
パワーコンディショナは、停電などにより電力会社から電力が供給されなくなっても、太陽電池が発電する電力を使用することができます。ここでは、その方法について説明します。

- ・PV 分岐ブレーカを‘オフ’にしてください。

(交流側)



- ・表示部に「OFF」、表示部の中央に「.」、または、カウントダウンが表示されていれば、太陽電池は発電できる状態で待機しています。
- ・自立運転スイッチを‘オン’にしてください。連系運転スイッチは必ず‘オフ’にしてください。



自立ランプが点灯し、運転を開始します。

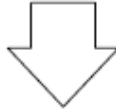
停電用コンセント（AC100V/15A）に使用したい機器を接続してください。

- 運転を停止させる場合は、自立運転スイッチを‘オフ’にしてください。
- 運転を停止した後、表示部にカウントダウンを表示されます。
- 接続する機器の電力の最大が 1.5kVA 以内（AC100V 最大 15A 以内）になるようにしてください。
- 発電量は天候により変化しますので停電すると困る様な機器（パソコン、医療機器等）は接続しないでください。また、掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働き停止することがあります。

通常時の使い方（連系運転）

- ・接続箱のすべての開閉器を‘オン’にしてください。

（直流側）

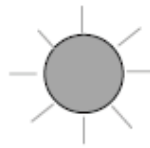


- ・PV分岐ブレーカを‘オン’にしてください。

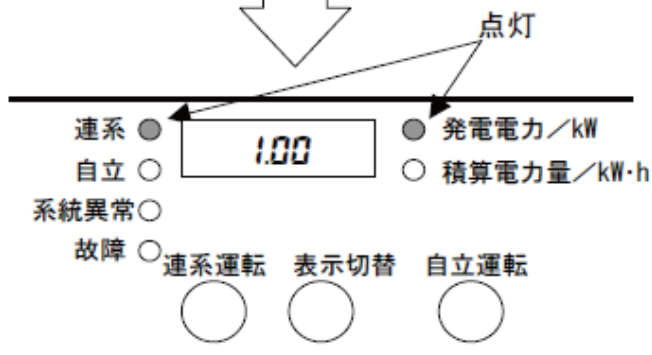
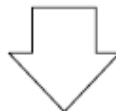
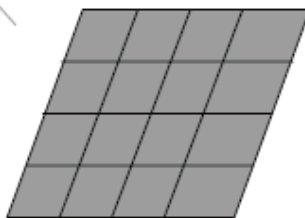
（交流側）



オン



太陽電池が発電していると



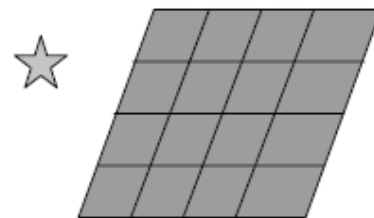
点灯

連系ランプが点灯し、運転を開始します。
 カウントダウンを表示している場合は、
 カウントダウン終了後に連系ランプが点灯
 し、運転を開始します。

- ・表示部に「OFF」、表示部の中央に「.」、または、
 カウントダウンが表示されていれば、太陽電池
 は発電できる状態で待機しています。
- ・連系運転スイッチを‘オン’にしてください。
 自立運転スイッチは必ず‘オフ’にしてくだ
 さい。



太陽電池が発電していないと



太陽電池が発電するまで、すべての表示は
 消灯しています。

- 運転を停止させる場合は、連系運転スイッチを‘オフ’にしてください。